



《盛会だった花見会 報告》

～中田俊郎氏の講演に拍手～

日時：4月9日（土）午後3：00～

会場：寺町周辺散策、翫組（金沢市片町）

金沢龍馬会4月の花見会は金沢市片町の「翫組」にて開催。青春の地湧きたぎる21名の男女会員が参加、大いに飲み語り楽しいひと時を過ごしました。

参加者

宮島/小屋/中川/宇賀/中田（俊）/紺谷/守山/大坪/吉田/紐野/富来/中城/朝日/周藤/北川/小幡/中田（文）/谷/中堀/濱/新木の21名の各位でした。

始めは、午後3時ころから、吉田事務局長のご案内で明るい春の日差しのもと寺町の幕末・明治維新の道を回りました。三光寺の島田一郎、国泰寺の高峰讓吉、玉泉寺の清水誠、承証寺の福岡惣助、妙慶寺の松平大弐を偲びました。

知っているつもりでしたが改めてボランティアガイドとして吉田さんから丁寧な説明を受けて参加者はすこぶる感銘、良い企画だったなあと言いつつ次策です。

翫組での講演は中田俊郎氏「書道芸術と龍馬について」で中身の濃い講演をしていただきました。

書道について、龍馬の手紙、書道の魅力、篆刻、落款、印、花押についての説明がありました。

若々しい中田俊郎さんの語り口は判り易くその内容に頷いた方が多かったようでした。納得の会員です。

普段何気なく使っている用語を詳しく解説され、力強く語られました。

次に親睦会に移り、皆活発に議論を交わしました。いろいろと質問意見が飛び交い、更に盛り上がり各会員とグラスを交わし、日頃の活動の話などに話の花を咲かせました。



楽しいひと時はあっという間に時は過ぎ最後は金沢龍馬会のこれからの発展を祈って???の中締めとして連帯の意味を込めて三三七拍子で楽しい宴は無事に終了しました。



終了後、有志が小幡さんの店に移り、犀川河畔の桜を見ながら一献傾けました。

《北陸三県交流会》

日時：9月未定

場所：富山県

講演：未定

“富山龍馬会特別講演会”

萩原大輔氏による「武者の覚え」

報告：小屋忠男

日時：2月11（祝）午後3：00～

会場：富山市民交流館（富山駅前）

この時期には珍しい乾燥注意報が出た快晴の2月11日の祝日。午後3時から4時30分。

北陸は富山市内で富山龍馬会主催による「特別講演会」がありました。

富山の会員や富山市内の一般人は勿論、金沢龍馬会事務局長の吉田さんを始め佐藤さん、中條さん、寺元さんそれに小屋と5人の金沢組も参加して熱心に聴き入りました。



テーマは『武者の覚え』（戦国越中の覇者・佐々成政一龍馬が生きた幕末期の成政イメージ）。

講師は、富山県郷土博物館主任学芸員の萩原大輔氏。若き研究員ながら関西弁とユーモア溢れる熱弁に虜になりました。

戦国時代から安土桃山時代にかけての武将・大名だった佐々成政は、厳冬の北アルプス・立山山系を自ら越えて浜松へと踏破し家康に出会った「さらさら越え」でよく知られています。

今回の萩原大輔さんの特別講演では「小百合伝説」について解明を試み佐々成政の伝説に何を願い、何を訴えているのかを明快に説得力ある語り

口で訴えられました。

1時間30分の講演でしたが次から次へと軽妙に話される内容に すっかり魅了され富山へ行って良かった、を痛感しました。富山龍馬会の杉田さんや大塚さんに深く感謝します。

まるわかり「龍馬入門講座」⑧

これは2010年NHKテレビで放映された大河ドラマ「龍馬伝」が始まる前、坂本龍馬を紹介する為長崎国際観光コンベンション協会が作ったパワーポイントです。今回連載に際し吉田が若干編集しました。(本掲載は金沢龍馬会内部のみです)

⑳1866年1月21日、龍馬の必死の仲介が実り京都で薩長同盟が結ばれます。この瞬間、歴史は「倒幕」へと大きく舵をきりました。

その陰に悲劇がありました。直前の14日、23日とも言われます。長崎の小曾根邸で、同盟実現に大きな役割を果たした亀山社中隊士の近藤長次郎(変名:上杉宗太郎)が自決し29歳の短い生涯を終えました。

龍馬は薩長を何とか結び付けようと東奔西走していました。亀山社中を通して英国商人グラバーから軍艦と銃を買い付ける交渉を始め、亀山社中の試金石となった大仕事は、社中きっての敏腕と



言われた近藤長次郎に託されました。

彼は長崎、薩摩、長州を駆け回り活躍しました。薩摩藩側の説得、不足資金の調達、長崎奉行所役人の懐柔等、難問を解決し軍艦ユニオン号の購入に成功します。

長次郎は亀山社中を密かに脱退して英国に密航しようとして、グラバーに手引を依頼したのですが、それを察知した社中の仲間小曾根邸に連行され、隊士の沢村惣之丞らは、「盟約に何事も相談して決めると血判して約束したはず」と、盟約

違反と責めて切腹を迫ります。

長次郎は「梅花書屋」と呼ばれた離れで席を設けて潔く自決したといひます。

《遺体は皓台寺の裏山に葬られ、後に墓は1968年に小曾根家墓地に移されています。墓石に刻まれた「梅花書屋氏墓」の文字は龍馬の筆とも言われています。

龍馬にとって長次郎は幼馴染で、ともに勝海舟の門に入り、常に行動してきた大切な同志でした。

京都で長次郎の死を知った龍馬は「自分がいたら殺しはしなかった」と嘆いたと言われます。》

「続く」(記:吉田信夫)

特報

第28回全国龍馬ファンの集い in 福岡

日時:10月8日(土)9日(日)

福岡

●年会費納入のお願い

28年4月から来年3月迄の年会費:

¥3,000

例会ご出席の折か次の口座まで送金下さい。

郵便局 口座No 00780-5-38627

口座名義 金沢龍馬会

振込手数料は龍馬会が負担。3千円のみです。

【新入会員】

浜 敬一さん

【編集後記】

花見会も盛況のうちに終わり6月は「総会」。会報も第8号が完成、これからも皆さまのご指導ご鞭撻をいただきながら楽しい会報作りを目指したいと思っています。

***** 事務局*****

金沢龍馬会

会 長:中川可能作

事務局長:吉田信夫

080-5600-1113

jitianxinfu@hotmail.com

会報担当:中田俊郎 090-7806-2269

n-toshio@muj.biglobe.ne.jp

金沢龍馬会 公式ホームページ

<http://kanazawa-ryomakai.com/>

金沢龍馬会 facebook

<https://www.facebook.com/kanazawa.r>



[yomakai?sk=wall&filter=2](#)